♪ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

11 月前半に宇久井半島で見られるなかまたち！

「ハヤブサ ハヤブサ科」
留鳥。全長♂42cm♀49cm。頭から背中は青みがかったグレー。目の下のひげ状の斑が特徴。世界最速の鳥。

「ノスリ タカ科」
冬鳥。全長 55cm。トビより一回り小さいタカで、脇からお腹周りにある茶色の横線が特徴。

「オオキンカメムシ キンカメムシ科」
体長 19-26mm。アブラギリで繁殖し海岸の常緑広葉樹で集団越冬する。駒ケ崎でたくさん見る事が出来る。

☆「オオイタビ クワ科」☆
常緑つる性の木本。関東以西の特に海岸近くの暖地に自生する。イチジク属の為、壷のような花嚢の中に花が咲く。

☆「ノブドウ ブドウ科」☆
落葉つる性の木本。果実はカラフルだが食べられない。観賞目的で園芸植物として栽培されることも。

☆「センニンソウ キンポウゲ科」☆
常緑つる性の半低木。果実につく白くて長い羽毛状の花柱を仙人のひげに見立ててその名が付いた。

☆「イヌタデ タデ科」☆
道端や野原に普通に生える一年草。まれに白い花もある。別名「赤まんま」といい秋の季語でもある。

☆「シタキソウ キョウチクトウ科」☆
海岸近くの林下に生える常緑つる性の多年草。長さ 10cm ほどの細長い袋果が対をなしてぶらさがっている。

☆「ヘクソカズラ アカネ科」☆
道端や藪など至る所に生えるつる性の多年草。果実は長持ちする為、クリスマスリースなど飾りにも最適。

☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くこともできます。

一年草：1 年のうちで発芽し花が咲き種をつけ枯れる。　多年草：同じ株から枯れずに何年も続けて花を咲かせる。

この時期ならではの鳥や昆虫、花や木の実などがたくさん見られます。

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

2024 年 11 月前半号
宇久井ビジターセンター

吉野熊野国立公園
宇久井半島

秋版

＜散策時間の目安＞

○ビジターセンター～地玉の浜コース　（片道約15分）
❶ → ❷ → ❹ → ❺　約700m
○ビジターセンター～駒ヶ崎灯台コース　（片道約25分）
❶ → ❷ → ❸　約900m
○ビジターセンター周回コース　（一周約40分）
❶ → ❷ → ❹ → ❻ → ❶　約1200m
○ビジターセンター～千尋の浜コース　（片道約20分）
❶ → ❼ → ❽　約1200m
○ビジターセンター～外の取コース　（片道約20分）
❶ → ❼ → ❾　約1200m

フェリーターミナル方面
通行できません

キアシシギ
ソリハシシギ
コチドリ

千尋の浜
（上地の浜）

千尋の浜方面

メジロ
キジバト
ヒヨドリ
ウグイス

南紀勝浦
休暇村

至休暇村

外の取

N
W
E
S

至 R42

マテバシイ
ウバメガシ
ヤブツバキ
ヤマモモ

トベラ
ビジターセンター
作業ヤード
アキグミ
ヤブツバキ

マルバウツギ
上野展望台
防空監視哨
ヤマモモ
ヘラシダ
ヒサカキ
モチノキ

オガタマノキ
蛭子神社跡地
ヤブツバキ
ヤマモモ
ハゼノキ
（メジロがよく食べに来ます）

畑
竹林

ヤブツバキ群生地
足元注意

自然観察の森

木のすき間から
海が見えます。

ヒサカキ
エゾビタキ・コゲラ
ホルトノキ
シロダモ
カラスザンショウ
シロダモ
沢
周回ルート
竹林

松尾展望広場

ヒサカキ
ツワブキ
アオノクマタケラン
シロダモ
クスノキ
トベラ
スダジイ
ハマオモト
ハマナデシコ
ハマゴウ
ハマナタマメ
トベラ

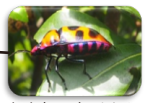
赤灯台

タイミンタチバナ

地玉（じごく）の浜

ヤブニッケイ
カンコノキ
水壺の跡
灯台まであと4分
ネズミモチ
ヒメユズリハ
モチノキ
タブノキ
モチノキ
木のすき間から浜が見えます。
モチツツジ

駒ヶ崎灯台



オオキンカメムシ

凡例

- 駐車場
- あずまや
- 案内板
- 展望地
- 水道
- お手洗い
- 自動販売機
- 車道
- 舗装路
- 林内の遊歩道
- 階段